

熊野川緊急対策特定区間の 実施状況について

近畿地方整備局

紀南河川国道事務所

熊野川激甚災害対策特別緊急事業 事業工程

○平成23年台風12号洪水による甚大な浸水被害を踏まえ、河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）により河道掘削や築堤等を実施し、再度災害を防止する対策を実施してきました。

○平成28年度末で概ね目標（計画規模の洪水（19,000m³/s）の安全な流下）は達成しましたが、今年度も引き続き一部区間の掘削及び築堤を実施し、さらなる治水安全度の向上に努めます。

工事内容		数量	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	進捗状況
掘削工	根固め工含む	215万m ³		1千m ³	392千m ³	973千m ³	79千m ³	280千m ³	425千m ³	H29年度完了予定
築堤工	相筋地区堤防補強	820m								完了
	池田地区築堤	186m								完了
	成川地区築堤	330m								H29年度完了予定
	蓬萊地区築堤	340m								H29年度完了予定
排水機場耐水化		1式								完了
橋梁対策	JR熊野川橋梁 新熊野大橋の補強	1式								調査・設計完了

熊野川改修事業(緊急対策特定区間) 事業工程

- 平成29年度からは、熊野川のさらなる治水安全度の向上と浸水被害の軽減を図るため、「緊急対策特定区間」を設定し、概ね5年間で重点的に河道掘削等を実施します。
- それにより、熊野川水位の影響を受ける相野谷川において浸水被害の軽減を図ります。

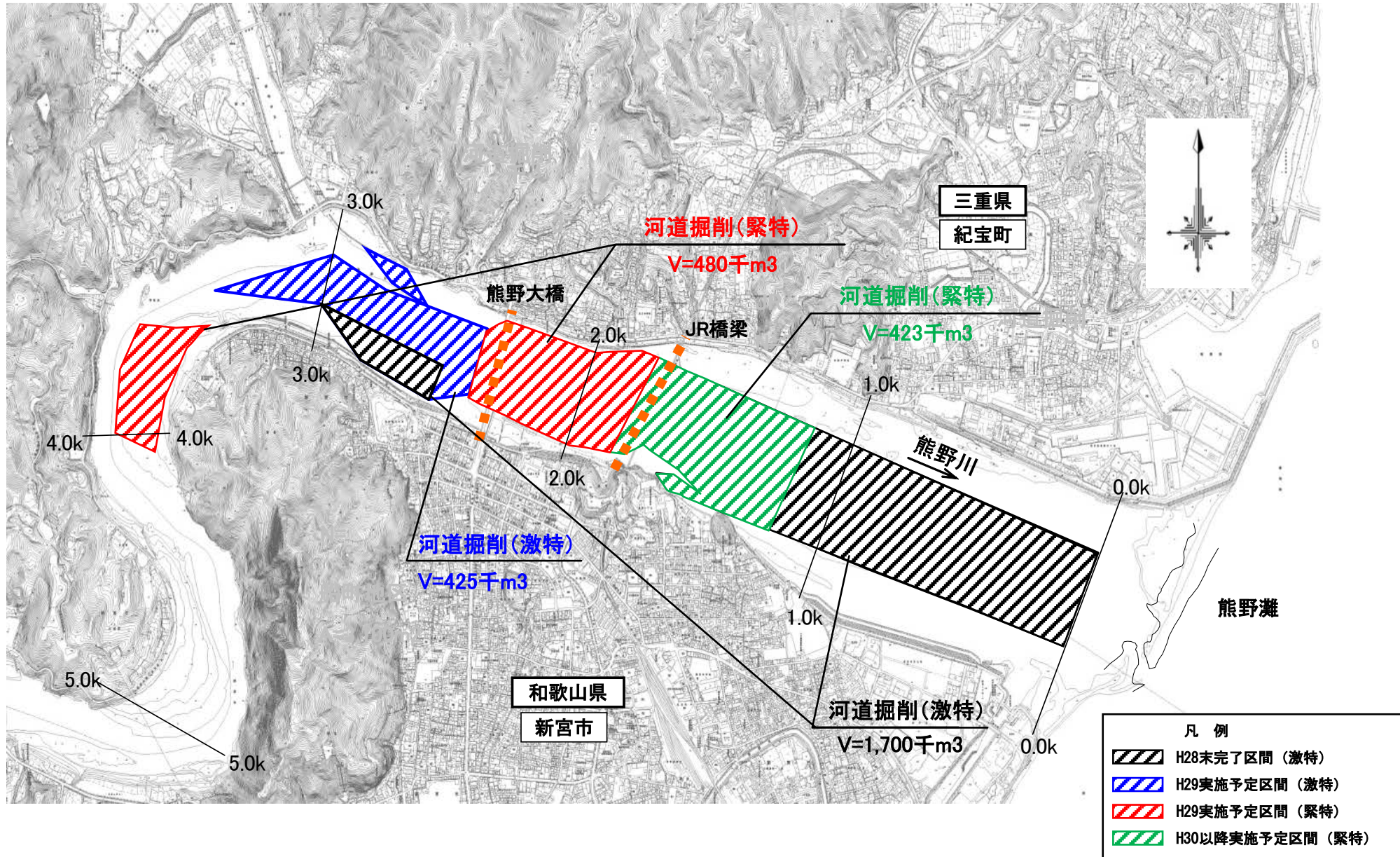
事業内容(熊野川)



緊特工程表

	数量	H29	H30	H31	H32	H33
河道掘削	約90万m3					
JR橋脚補強	1式					

熊野川河道掘削実施状況



掘削土砂の有効活用（七里御浜【井田地区】海岸侵食対策）

○河道掘削において発生した土砂は、ふるい分け後に七里御浜（井田地区海岸）の三重県の海岸侵食対策に活用しています。

海岸侵食対策前



海岸侵食対策状況



掘削土砂の有効活用（王子製紙跡地（津波避難地））

しんぐう
○新宮市による津波避難地整備を連携して実施。避難地の基盤整備に河道掘削土砂を活用しました。

整備前



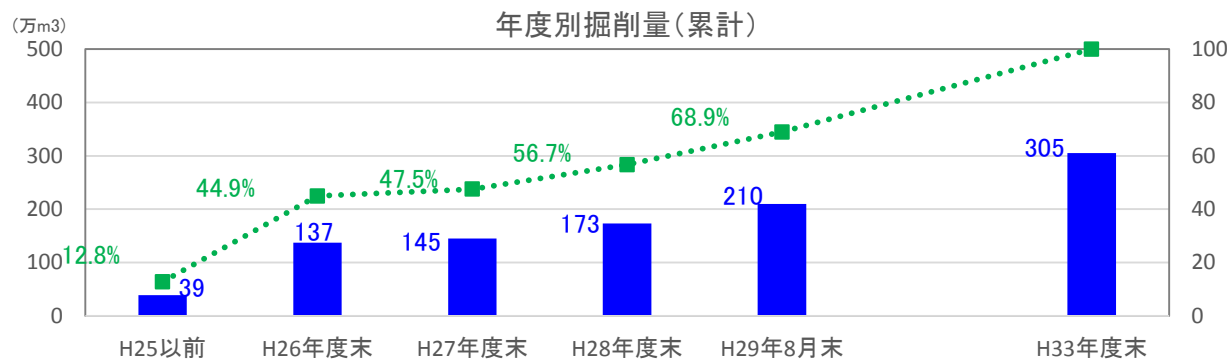
整備後



河川整備による事業効果(平成27年7月の台風11号に対して河川整備が効果を発揮)

○熊野川河道掘削により平成27年7月の台風11号洪水(約17,000m³/s規模)では、支川相野谷川の水
 位が約1.2m低下。

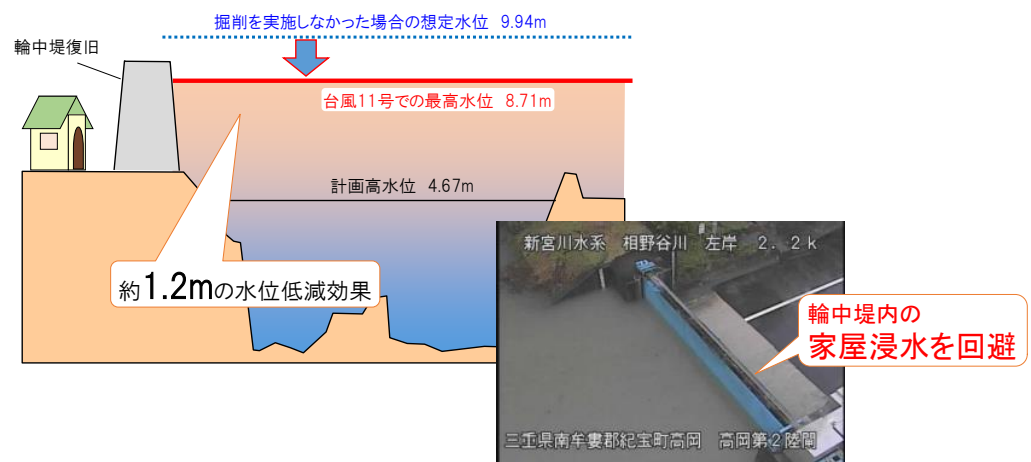
○河道掘削に加え、輪中堤の復旧(鮎田地区、高岡地区、大里地区)により輪中堤内の家屋浸水を回避しました。



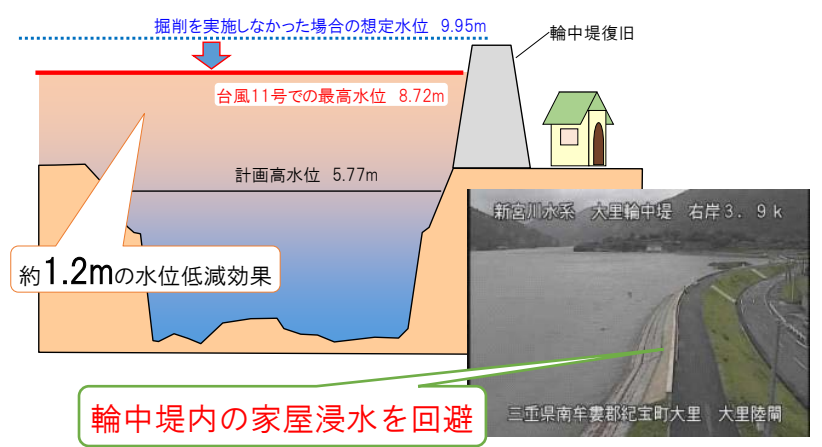
平成27年7月
 台風11号
 流量：約17,000m³/s

H26年度末時点の事業効果

相野谷川:高岡地点



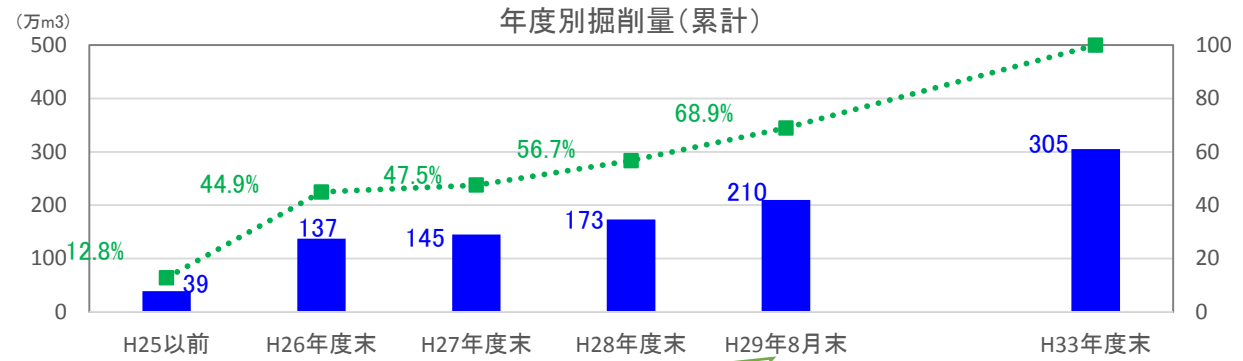
相野谷川:大里地点



河川整備による事業効果(平成29年8月の台風5号に対して河川整備が効果を発揮)

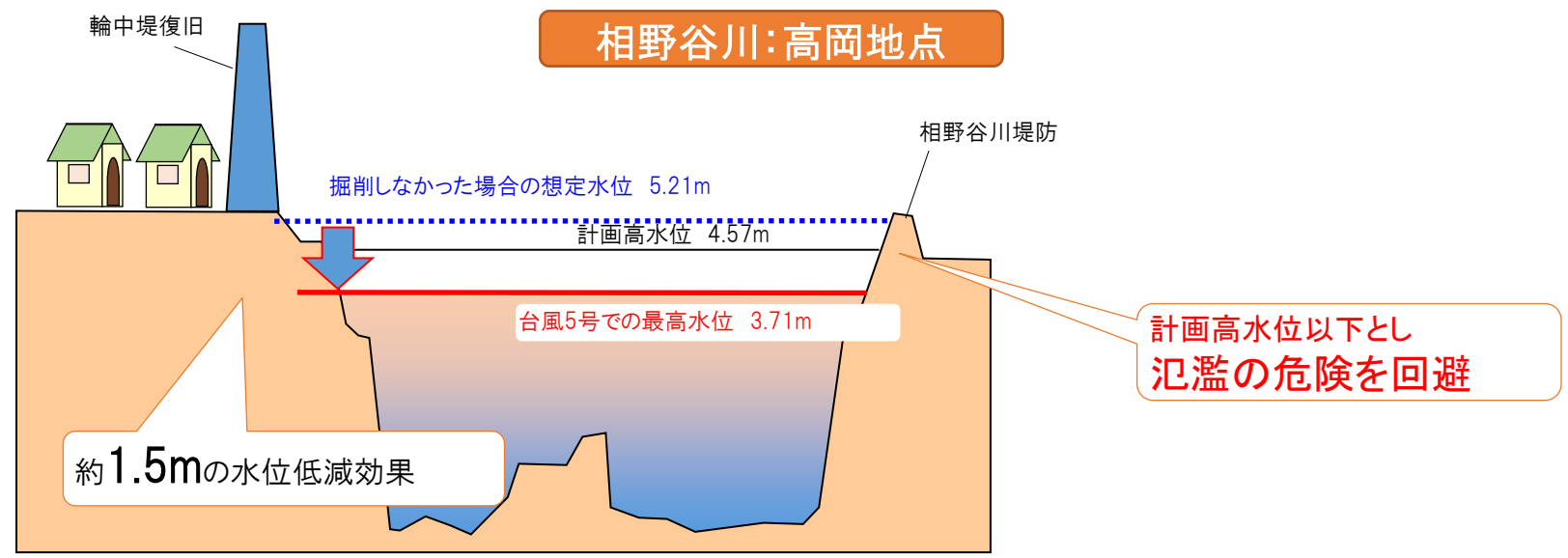
おの だに

○熊野川河道掘削により、平成29年8月の台風5号洪水（約5,000m³/s規模）では、相野谷川の水位を約1.5m低下させ、相野谷川堤防からの氾濫の危険を回避しました。



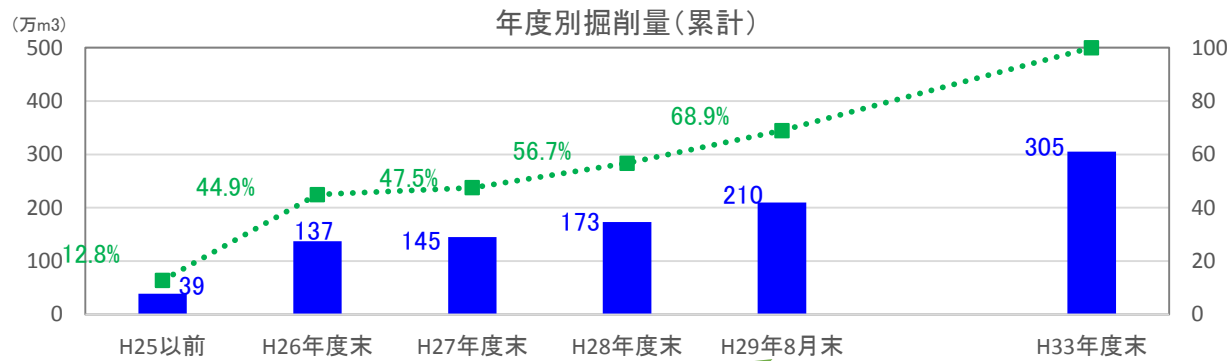
平成29年8月
台風5号
流量：約5,000m³/s

H29年8月末時点の事業効果



河川整備による事業効果(平成29年10月の台風21号に対して河川整備が効果を発揮)

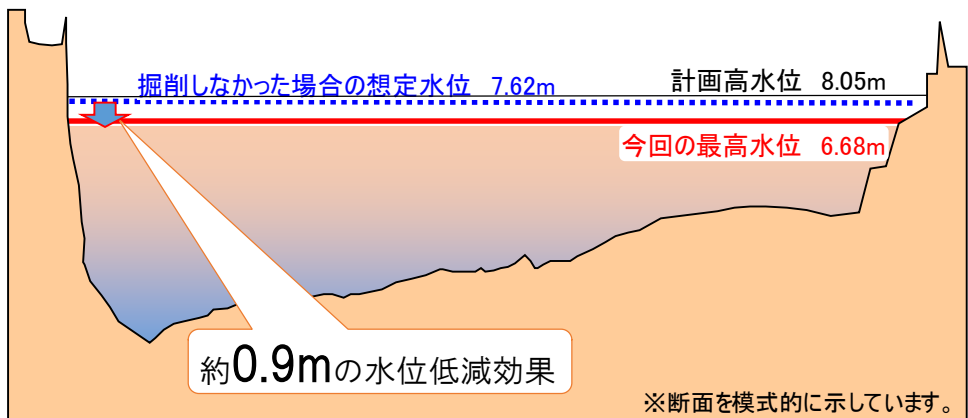
- 平成29年10月の台風21号洪水（約16,000m³/規模）では、^{くまの}熊野川本川の水位を約0.9m低下させ、計画高水位にせまる洪水を安全に流下。
- 支川^{おのだに}相野谷川の水位を約0.9m低下させ、輪中堤からの越水を回避しました。



平成29年10月
台風21号
流量：約16,000m³/s※
※流量は速報・推定値

H29年8月末時点の事業効果

熊野川：成川地点



相野谷川：高岡地点

